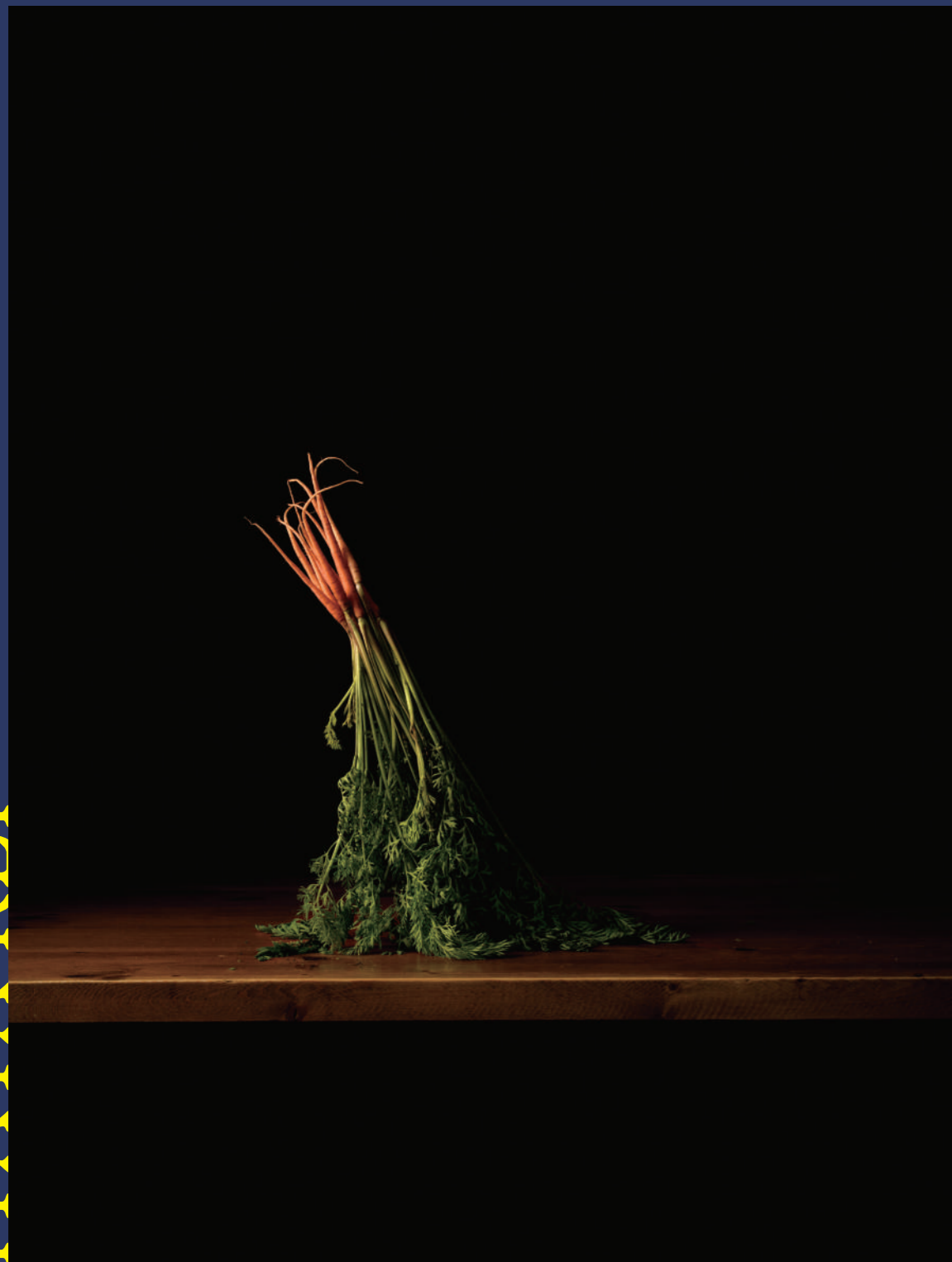


ITAYA REI



SUZUKI SHINOBU



MORITA KARIN



BURUMORI



板谷麗

上林泰平

スズキシノブ

千葉美香

BURUMORI

森田夏鈴

Tokyo Art

交差 = Intersect

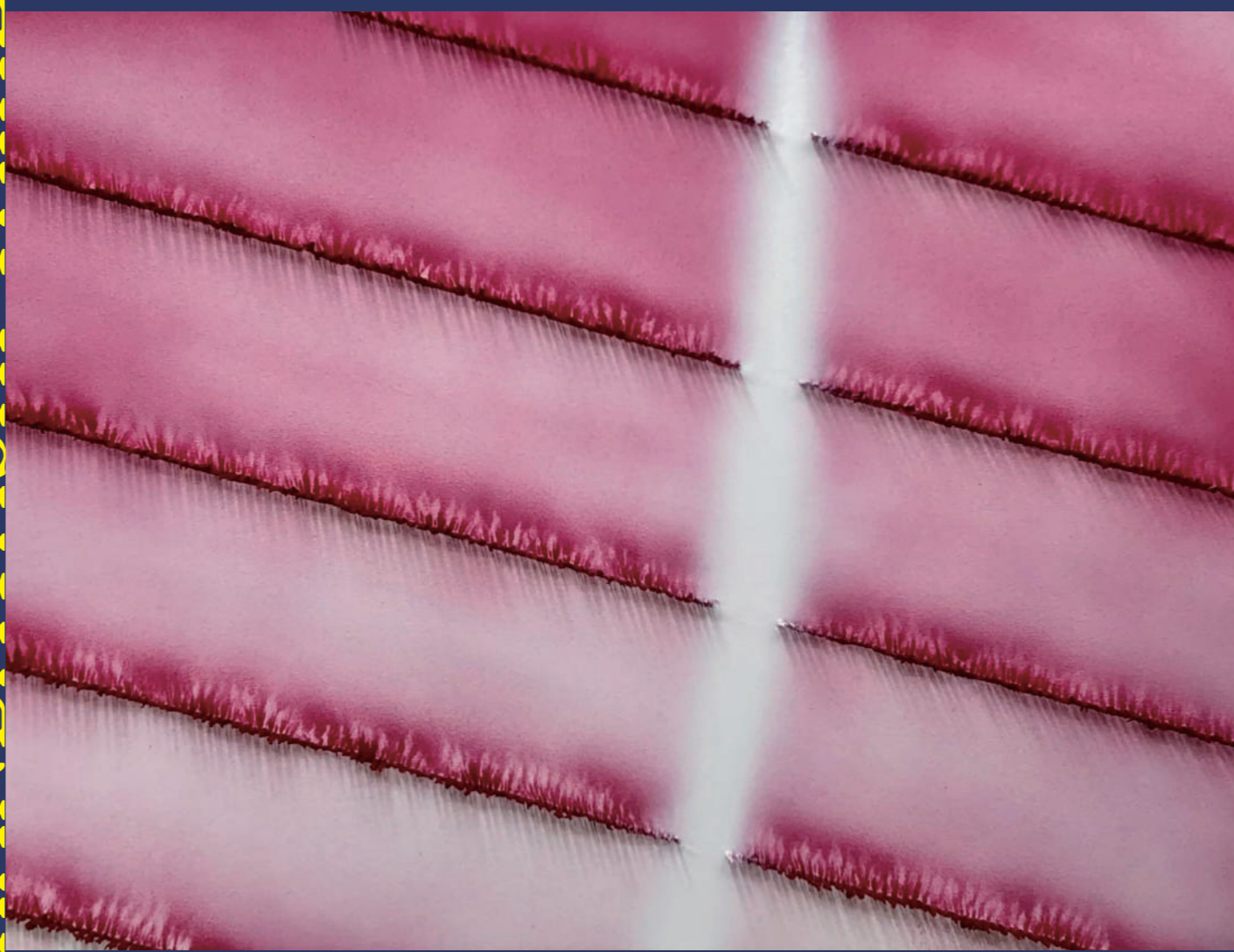
アートの流れ = Currents

Intersect: Currents

CHIBA MIKA



KANBAYASHI TAIHEI



TOKYO SQUARE GARDEN

東京スクエアガーデンアートギャラリー（1階オフィスエントランスホール）

企画：石川画廊／gallery UG／四季彩舎／TOMOHIKO YOSHINO GALLERY

入場無料 10:00～19:00（最終日 18:00まで）土日祝閉館

本展「Intersect: Tokyo Art Currents」は、京橋の商業施設・東京スクエアガーデン内に位置するアートギャラリーを舞台に、4つのギャラリーがそれぞれの視点で選出した現代作家6名によるグループ展です。異なる経歴や感性、手法をもつアーティストたちの作品が、都市空間という開かれた場において交差（Intersect）することで、多様な「アートの流れ（Currents）」が浮かび上がります。それぞれの表現は、ギャラリーの個性や作家の内面を反映しながら、都市のリズムや人々の移動、視線と呼应します。交わることによって生まれる新しい意味や関係性は、現代における表現の可能性をひらくものとなるでしょう。

6/6
(FRI.) 2025
—
8/1
(FRI.)

板谷 麗 ITAYA REI

RAWというシリーズは、自宅や旅先で出会う食材のポートレート撮影からはじまりました。
土地が変われば生き物が変わる。それらを観察し、撮影し、実際に食した料理名をタイトルにしています。全くの想像の世界ではなく、一方で単なる記録でもない。現実を観察していく延長上に、私の制作はあります。



- 女子美術短期大学卒業
- 2024 個展「RAW」 - gallery UG Tennoz
- 2023 個展「RAW」 - gallery UG Bakurocho
- 2022 Konshin-Ten Vol.4 - gallery UG Bakurocho
- 2021 アートエキシビジョン 「SICF22」 - スパイラルホール
- 2018 個展「Before Becoming a Dish」 - 表参道ROCKET
- 2015 個展「From The Dark Room To Outer Space 暗室から宇宙へ」 - ROCKET
- 2011 第5回「1_WALL」展 - ガーディアン・ガーデン、東京 第5回「1_WALL」ファイナリスト

千葉 美香 CHIBA MIKA

水と戯れる中で出会う景色は、奇想天外で面白い。時に水の冷たさや海の深さ、波の強さに恐怖を感じながらも、安全で便利な日常生活では出会うことのできない、手付かずの自然の姿を見ると、宇宙が生まれた秘密に触れているような不思議な気持ちになる。美しく輝く光の粒を1つ1つ迎っていくと、全てが繋がっていることを再認識する。互いに絡み合い、交差して世界を形作っている様は、一人一人の人生や人間社会にも似ている。



- 1991 北海道 出身
- 2014 北海道教育大学旭川校教員養成課程芸術 保健体育教育専攻美術分野 卒業
- 2025 個展「Mesmerizing」 - gallery UG Tennoz
- 2024 D-art, ART 2024 - 大丸札幌店 「Laissez-faire」-大丸梅田店
- 2023 「Visualization」 - gallery UG Tennoz 「gallery UG's Collection」 - gallery UG Tennoz
- 2022 「Laissez-faire」 - 大丸東京店
- 2021 「Laissez-faire」 - 銀座蔦屋書店 GINZA ARTIUM 個展「Nature Travels」 - gallery UG Tennoz VOLTA BASEL - Elsässerstrasse 215, スイス 次世代アート展 - 大丸京都店
- 2020 ONE ART TAIPEI - The Sherwood Taipei, 台北 個展「刹那」 - gallery UG 「春風 -spring has come-」 ART colors Vol. 32 春展示 - パークホテル東京 「雨のち晴レの日」 ART colors Vol.33 夏展示 - パークホテル東京 「Laissez-faire」 - gallery UG Tennoz 「KIRINJI」 - gallery UG Tennoz
- 2019 第35回上野の森美術館大賞展 絵画大賞受賞者 千葉美香展 - 上野の森美術館ギャラリー JRタワー・アートブラネッツ ”若きstorytellers 北の絵画のいま” - JRタワー・プラニスホール Mono No Aware 物の哀れ - ION Art gallery, シンガポール 「KONSHIN-TEN」 - gallery UG 「アーティストが見た沖縄～忘れられない一瞬へ。」 - 銀座蔦屋書店
- 2018 第35回上野の森美術館大賞展 入賞者展 - 上野の森美術館ギャラリー
- 2017 第35回上野の森美術館大賞展 - 上野の森美術館

BURUMORI

「弱さを肯定する」と「嗜虐心」をテーマに2022年より制作を開始。
圧倒的に弱い存在であるハムスターをメインキャラクターとし、「弱者」が「強者」に対し持つ恨みや妬みといったネガティブな感情は、人間が持つ純粋な一つの心情だと捉える。作品には「虐げられた後・これから起こる暴力の予知」、そして懸命に生きる姿などが描かれる。

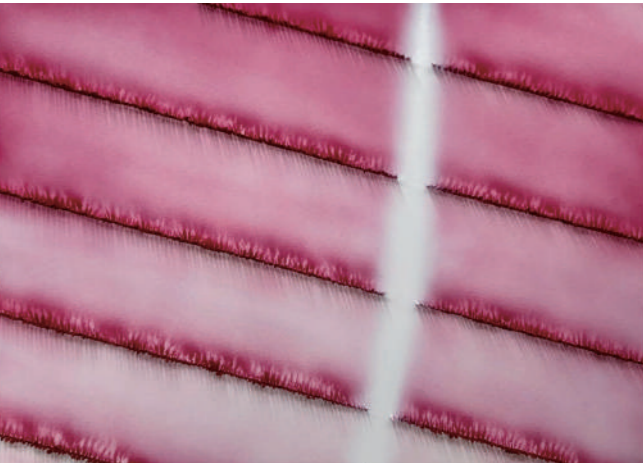


- ーSolo Exhibition
- 2022 RESENTIMENT - 石川画廊

- ーGroup Exhibition
- 2024 THE BEAUTIFUL LOSERS - YOD editions Original Character - Superwow Gallery , Australia ART SESSION - GINZA SIX 銀座蔦屋書店
- 2023 ART FEAR SEOUL - SH GALLERY SEOUL,韓国 NEUTON - 油山NEUTON JK-G competition Group Exhibition - BISUNJAE GALLERY,韓国 TEA TOPIA TOKYO presents “ MAKE TEA NOT WAR “ - MUSTARDHOTEL THE BLACK PHANTOM - 博多阪急 D-art,ART2023 NAGOYA - 松坂屋名古屋店 ASSEMBLY - DDD ART 14th KOBE Art Marché - 神戸メリケンパークオリエンタルホテル ART FEAR TOKYO - SH GALLERY 428ART Curation by BOTANIZE - SLOTH THE PHANTOM - YOD editions
- 2022 A4WALL - A4Japan,松屋銀座 MELTING POT - BARNEYS NEWYORK六本木店

- ーWork
- 2023 株式会社イーストン 服飾資材専門店JAMpack 店内壁画製作,祐天寺

上林 泰平 KANBAYASHI TAIHEI



1986年 岐阜県高山市出身
2003～2013年 標高3000mの山小屋「穂高岳山荘」勤務。
美術館巡りのためヨーロッパ周遊一人旅を数回。
現在は長野県の南信州にて創作活動しながら果樹農業に携わる。
創作はメインで展開中のミニチュア人形を用いた現代アートの他、油彩から、焼き絵による似顔絵描きまで多岐にわたる。

- 個展
- 2019 中川村アンフォルメル美術館「Breath」展
- 2022年まで地元地域で毎年開催
- グループ展
- 2023 「DAEGU INTERNATIONAL ART FAIR 2023 - 韓国 Comtenporary Tokyo「Independent Tokyo 2023」 - Gallery Tag boat 「想像された狼たち」展 - 武蔵御嶽神社
- 2022 「AND LINKS selection」展 - Gallery AND LINKS
- 2020 「GINZA CONTEMPORARY ART」展 - 東京 Gallery AND LINKS 「想像された狼たち」 - 東京Gallery SIACCA 他多数

- 受賞
- 2019 第104回 二科展二科新人賞
- 2019 南信美術展 南信美術会賞
- 2016 南信美術展 70 周年記念賞

公益社団法人二科会会友

スズキシノブ

革小物職人としてのキャリアを活かして「つかいすて」ではなく「のこるもの」を目指し、2020年よりレザーカービング(革彫刻)やカット&ペースト、染色、ペイント、立体造形などをミックスした手法を駆使したレザーアート作品を発表している。革とは「外皮」であり、外部と内部の「境界線」であると考えている。その特性を帯びた革作品もまた、「境界線」であると捉え、作品を通じて外部である「世界」と内部である「ワタシ」を結びつけ、「存在」を見つめる契機となること目指している。



- 1983 東京生まれ
- 2020 アーティストとして活動を始める。

- 2021 個展 『POTENTIAL』 - 四季彩舎
- 2022 ART BUSAN2022,釜山 ART TAIPEI 2022,台北 DIAF2022,大邱
- 2023 ONE ART TAIPEI 2023,台北 ART FAIR ASIA FUKUOKA 2023
- 2024 ONE ART TAIPEI 2024,台北 D-art,ART 博多大丸店 D-art,ART 札幌大丸店 ART FAIR ASIA FUKUOKA 2024 個展 『関係のための境界線』TOMOHIKO YOSHINO GALLERY Vietnam International Art Fair 2024,ホーチミン/ベトナム
- 2025 ART365 松坂屋名古屋店 ART365 高知大丸

森田 夏鈴 MORITA KARIN

三重県の豊かな自然と幼少期からの料理経験に育まれ、「食」を通じた作品制作を行うアーティスト。 食事は、古くは神聖なる儀式「神事」でした。他の命を奪い自分の命を繋ぐ、生と死が同時に存在する日常的な行為に、人々は靈性を感じ、感謝や畏敬の念を表していました。

しかし、現代では料理の見た目や味にばかり関心が向けられますが、食の本質的なものへの意識が薄れています。 森田は動植物の食材を観察し、料理し、食べ、描くことで、自然の理や自己の身体への意識を再構築します。 作品を通じて「いただきます」の形を取ることで、命への感謝の表現と、自己との対話を促すことを目指しています。



三重県出身。

- 2016 三重大学教育学部美術教育課程卒業
- 2023 independent tokyo 2023 RAW -森田夏鈴/SAKAMOTO ENTERTAINMENT - +ART GALLERY watowa art award 2023 exhibition - watowa gallery THE BOX TOKYO
- 2024 Quarter Room presents 「the Bartender's Order」 - Quarter Room

- 個展
- 2024 Quarter Room presents 「the Bartender's Order」 - Quarter Room

- グループ展
- 2024 ART FAIR ASIA FUKUOKA 2024
- 2023 2人展「RAW -森田夏鈴 /SAKAMOTO ENTERTAINMENT-」 - +ART GALLERY independent tokyo 2023 watowa art award 2023 exhibition - watowa gallery THE BOX TOKYO